

第49回 けいはんな エジソンの会

2024年ノーベル賞 AI(人工知能)研究が初の快挙

次回予告!
ぜひご参加ください

うえだ なおのり
上田 修功氏

「人工ニューラルネットワークによる機械学習
～その発明と応用～」

国立研究開発法人理化学研究所 革新知能統合研究センター (AIP) 副センター長

おおうえ まさひと
大上 雅史氏

「AlphaFold ～タンパク質の立体構造予測がもたらす
未来の創薬・医療～」

東京科学大学 情報理工学院 情報工学系 准教授

1901年より100年以上にわたって人類に多大な貢献をした人物に贈られてきたノーベル賞ですが、昨年初めて物理学 / 化学の2分野で人工知能の研究者が受賞しました。この受賞は、世界中を驚かせ、コンピューターサイエンスが初めて世界に認められた記念すべき年となりました。

今回の会合では、物理学賞を受賞された「AI(人工知能)の父」と呼ばれるジェフリー・ヒントン氏と深い親交のある上田氏より、受賞内容を通し、その革新性と様々な領域での影響を、最新研究事例を交えながらお話し頂きます。また、大上氏より、化学賞を受賞した DeepMind社のハサビス氏、ジャンパー氏の研究で、すでに世界の200万人以上の研究者が利用している AIシステム (AlphaFold) のご説明を通し、合成生物学の飛躍的な発展による今後の展望についてお話しを頂きます。

両受賞における人工知能の多岐にわたる可能性を目の当たりにしながら、今後も我々の生活や社会の変革にますます大きな影響を与える人工知能と人類の未来について語り合いませんか。

日時 2025年 4月 25日 (金) 14:00～18:00

会場 国際高等研究所レクチャーホール
京都府木津川市木津川台 9 丁目 3 番地

参加費 3,000 円 学生 (大学院生を含む) は無料

定員 50 名 (先着順)

申し込み ホームページからお申し込みください
<http://www.iias.or.jp/communication/edison>
3月下旬に募集開始!!

締切 2025年
4月 23日 (水)

けいはんな「エジソンの会」とは…

けいはんな学研都市が標榜する「立地機関間の連携とそれによる成果の創出」を促進するため、国際高等研究所が知的ハブとしての役割を果たし、立地機関の研究者や技術者を中心にあらゆる人が出入り自由なコミュニティの形成と、この街ならではの基幹技術・基幹産業の確立を目指して、2016年6月21日に、けいはんな「エジソンの会」を発足しました。

お問い合わせ

エジソンの会事務局

Tel : 0774-73-4000 e-mail : edi-four@iias.or.jp

主催 : 公益財団法人国際高等研究所

後援 : 国立研究開発法人理化学研究所、公益財団法人関西文化学術研究都市推進機構

けいはんな万博 2025



◇講演者のプロフィール

上田 修功（うえだ なおのり）氏



1982年大阪大学工学部通信工学科卒業。1984年同大学院通信工学専攻修士課程修了。同年日本電信電話公社(現 NTT)横須賀電気通信研究所入所。1992年博士(工学)。1993-1994年米国Purdue大学客員研究員。2010-2013年NTTコミュニケーション科学基礎研究所所長。2014年同研究所上席特別研究員、2016年同研究所特別研究室長(NTTフェロー)、理化学研究所革新知能統合研究センター副センター長。2019年よりJST CREST数理情報基盤研究総括、ムーンショット目標3サブプログラムディレクター、現在に至る。電子情報通信学会(フェロー)、文部科学大臣表彰(科学技術賞)、電子情報通信学会功績賞等受賞。現在、主にAI技術の自然科学(物理学、医学)への応用に関する研究に従事。

大上 雅史（おおうえ まさひと）氏



2014年東京工業大学大学院情報理工学研究科博士後期課程修了、博士(工学)。同年日本学術振興会特別研究員(PD)、2015年東京工業大学大学院情報理工学研究科助教、2016年東京工業大学情報理工学院助教、2020年東京工業大学情報理工学院テニユアトラック助教、2024年東京工業大学情報理工学院准教授(大学名改称により2024年10月東京科学大学情報理工学院准教授)、現在に至る。タンパク質間相互作用予測AIの開発を中心に、バイオインフォマティクスとスーパーコンピューティングの融合研究を展開。2022年よりJST創発研究者。2014年日本学術振興会育志賞、2015年手島精一記念研究賞、2018年公益財団法人船井情報科学振興財団船井研究奨励賞、2019年科学技術分野の文部科学大臣表彰若手科学者賞、2020年Oxford Journals - Japanese Society for Bioinformatics Prize、2022年情報処理学会山下記念研究賞、同年安藤博記念学術奨励賞、2023年CBI学会若手奨励賞、2024年情報処理学会マイクロソフト情報学研究賞など、受賞。